

病院までのアクセスについて

……病院への案内標識



交通機関をご利用の場合 [JR富山駅より] 富山地铁バス(3番乗り場)で30分  
[富山空港より] タクシーで20分



バス簡易時刻表

富山大学附属病院から → 富山駅前・小杉駅前・高岡駅前へ

- 平日**
- 富山駅前** 始発:7時20分 最終:21時15分  
●約30～40分おき ●19時以降/約60分おき
  - 小杉駅前** 始発:7時35分 最終:16時15分  
●約60分おき ※9時および11時～13時台はありません
  - 高岡駅前** 始発:8時45分 最終:17時40分  
●約60分おき ※10時～11時、15時～16時台はありません

- 休日**
- 富山駅前** 始発:7時30分 最終:21時10分  
●7時～8時/約30～40分おき  
●9時以降/約60分おき
  - 高岡駅前**  
●9時50分 12時25分 14時30分

富山駅前・小杉駅前・高岡前から → 富山大学附属病院へ

- 平日**
- 富山駅前発** 始発:6時55分 最終:20時45分  
◎富山駅前バスターミナル 3番のりば  
●約30～40分おき ●19時以降/60分おき
  - 小杉駅前発** 始発:7時10分 最終:16時35分  
●約60分おき ※9時および11時～12時台はありません
  - 高岡駅前発** 始発:7時40分 最終:16時25分  
◎高岡駅古城公園側ターミナル 2番のりば  
●約60分おき ※9時～10時および14時～15時台はありません

- 休日**
- 富山駅前発** 始発:7時00分 最終:20時40分  
◎富山駅前バスターミナル 3番のりば  
●7時～8時/約30～50分おき  
●9時以降/約60分おき
  - 高岡駅前発**  
◎古城公園側ターミナル 2番のりば  
●8時50分 11時25分 13時40分



案内

駐車場の有料化のお知らせ

皆さまの安全と駐車場の安定的な運営を行うため、平成25年10月1日より、来院される全ての皆さまに駐車料金をご負担いただくこととなりました。ご利用の皆さまには何卒ご理解下さいますようお願いいたします。

- 外来患者さん/8時間100円
- 付き添いの方、お見舞いの方/24時間300円



正面入口に大きなクリスマスツリーが登場



富山大学附属病院だより

特集

インフルエンザ

ここが違うよ! インフルエンザのお薬

患者さんの心に寄り添う「がん治療サポート」  
連携病院のご案内「けいなん総合病院」  
インフルエンザと風邪予防対策の食事について  
読むくすり箱「抗インフルエンザウイルス薬」  
子どもたちと歩む小児科  
多岐にわたる放射線科  
スタッフステーションから  
季節のご挨拶

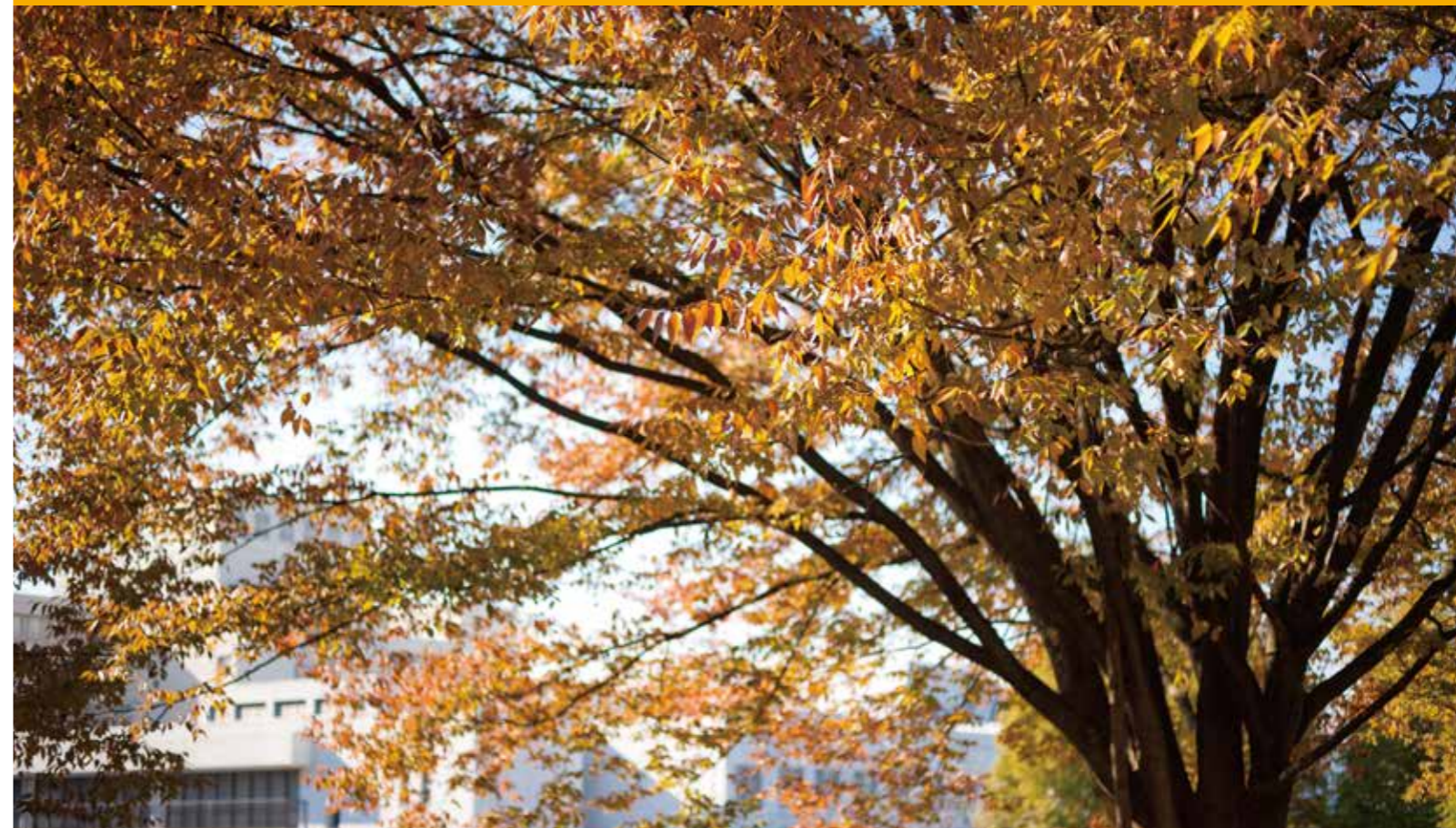
希  
望  
王

かわら版

Vol. 124

TOYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

2013年11月発行



木々が色づくキャンパス内

富山大学附属病院かわら版 第124号 2013年11月発行 発行人:塚田一博 編集人:米道智子/山崎勝治 発行:富山大学附属病院 〒930-0194 富山市杉谷2630番地 076-434-2281(代表)

# 特集「インフルエンザ」

— インフルエンザの治療について —

## 治療薬は4種類と選択の幅が広がりました

いよいよ寒くなり、インフルエンザの流行シーズンに突入しようとしています。インフルエンザは予防が大切ということで、手洗いや体調管理、ワクチン接種など予防の重要性が言われておりますが、みなさんはもう、十分にご存知で日頃から気をつけていらっしゃると思います。今日は、もしかかった場合にどのような治療薬があるのかについてお話しをしたいと思います。

インフルエンザ治療薬と言えば、もともと内服薬のタミフルと吸入薬のリレンザの2種類でした。その後2010年に、点滴薬のラピアクタと吸入薬のイナビルが加わ

り、計4種類となり選択の幅が広がりました。では、この4剤、どのような違いがあるのでしょうか？

診察する先生たちは、どの薬を希望するかみなさんにおたずねすることがありますので、ちょっと違いを整理してみましょう。インフルエンザの治療について日本感染症学会からの提言をもとにまとめてみました。

現在国内で使用できるタミフル、リレンザ、ラピアクタ、イナビルの4剤について成人の方を対象としてお話を進めていきます。



各治療薬の投与経路と用法・容量について

製品名	投与経路	用法・用量 (成人)
タミフル®	経口	75mg 1日2回、5日間。
リレンザ®	吸入	1回10mg(5mgプリスターを2プリスター)を、1日2回(専用吸入器)5日間。
ラピアクタ®	点滴	通常、成人にはベラミビルとして300mgを15分以上かけて単回点滴静注。
イナビル®	吸入	40mgを単回吸入投与する(2容器)。10歳未満は1容器。

## ここが違うよ! インフルエンザのお薬

### タミフル



タミフルは、最も一般的なインフルエンザ治療薬です。1日2回、5日間薬を飲みます。小児においてタミフルの副作用と思われる異常行動の可能性が報告されていますが、インフルエンザによる脳炎や脳症によっても幻覚や異常行動も出るため、副作用かインフルエンザによるものか判別することは難しいところです。

### リレンザ



リレンザは、専用の器具を使って薬剤を吸入する吸入薬です。1日2回の吸入を、5日間行います。薬の入ったカプセルをセットし、器具で穴を開け、吸入口から吸入します。インフルエンザウイルスは気道などの粘膜で増殖するので、吸入薬が粘膜に直接届くというメリットがあります。

## 治療薬は使いやすさと期間で選びましょう

インフルエンザの治療は外来治療が基本で、大部分の例は外来治療で軽快すると考えられますが、重症化する例もあります。外来治療が可能な場合は、上記4剤いずれでもよいですが、まずは飲み薬か吸入か、または点滴かで選択肢がありますし、投薬期間については5日間か1日などがあります。気管支炎や肺炎の合併で呼吸器症状がある場合は、吸入薬はむかないと思われますので、その場合には内服薬か点滴を選ぶとよいと思います。選択の決め手は、主治医と相談しながら自分に合った使いやすさや期間で選ぶとよいと思います。

インフルエンザ治療薬は、感染から48時間以内に服用した場合に効果が期待できます。ただし、投与後すぐに症状が軽減されるわけではありません。発熱期間が1~2日間短縮され、ウイルスの排出量を減少させます。特に子供や高齢者など免疫力が低下している方にとって重要な薬であることは間違いありません。

### ラピアクタ



ラピアクタの投与は基本的に1回のみですが、点滴での投与となります。どちらかといえば状態の良い方よりも、内服や吸入ができない、あまり状態のよくない患者さんにむいています。

### イナビル



イナビルは吸入薬で投与は1回のみです。リレンザと同様に吸入薬が粘膜に直接届くというメリットがあります。吸入が上手くできない小さな子どもなどは、保護者の協力が必要です。

感染症科准教授  
鳴河 宗聡



お薬のことをもっと知ろう!

抗インフルエンザウイルス薬のお話は

読むくすり箱のコーナーへ



チーム医療「がん治療サポート」

患者さんの心に寄り添い、  
一緒に悩み、考えています。

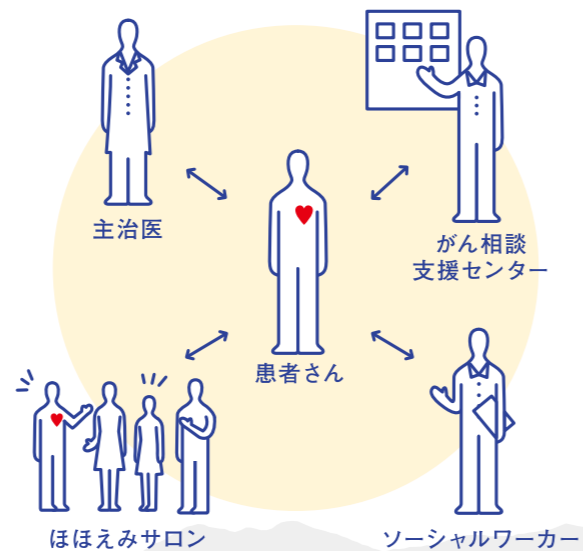
患者さんが話しやすい環境を、  
一緒に作っていきます。



ほほえみサロン

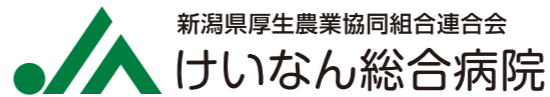
悩みの解決の糸口を見つける  
「がん治療サポート」

がん患者さんは、治療を継続していく道程で、様々な悩みを抱えます。最初は治療の選択、治療が始まれば身体的な苦痛が生じ、治療が長引くと経済的問題も生じ、気分も落ち込んでしまいます。主治医に相談したくても、忙しそうでなかなか話を切り出せない患者さんも多いのではないのでしょうか。そのような時に相談できる場所が「がん相談支援センター」です。ここでは、専門の相談員がお話を伺い、患者さんが悩みの解決の糸口を見つけられるように、一緒に考え、問題を整理するのをお手伝いします。主治医とじっくり話す時間が必要な場合には、話し合いの場を設けることもあります。経済的な問題には、ソーシャルワーカーが中心となってご相談に乗っています。精神的に不安定な時は、こころの専門家である精神科を紹介することもあります。また、患者さんが自由に利用でき、患者同士でゆっくり話せる場所として「ほほえみサロン」を開設しています。一人で悩まず、まずは困っていることを話してみませんか。



連携病院のご案内

新潟県妙高市にあるけいなん総合病院さんは、県をまたいで富山大学附属病院と強いつながりのある病院です。県という枠にとらわれず、良い医療を地域に提供していくことを再優先に考えています。



新潟県厚生農業協同組合連合会

けいなん総合病院

患者さん中心の質の高い、安全な医療を目指して

当院は、新潟県厚生連17病院の一つで昭和13年5月に開設されています。11年前には新築され介護老人保健施設を併設し、担当地域2市、対象人口約5万人の医療、健康、福祉の向上に尽力しています。開院当時常勤医師が19人（富山大から整形外科、眼科、耳鼻科、皮膚科、外科の計6名）いたところが12人に減ってしまいましたが、系列厚生連の上越総合病院の応援も得ながら頑張っています。地元の期待も大きく、行政や市民の方々の期待を受け、市民

病院的な感覚として受け止められています。当院が主に一、二次医療を担うという立場で、地元の開業医の先生方や、他の大中医院との連携をよくとり、役割分担の中で地域医療に充分貢献できているものと考えています。新幹線もまもなく開業し、富山大ともこれまで以上に良い関係を構築し「患者中心の質の高い、安全な医療」をコンセプトとして、地域の方々から信頼され愛される病院をめざし微力ながら頑張りたいと考えています。

けいなん総合病院 院長  
新井英樹

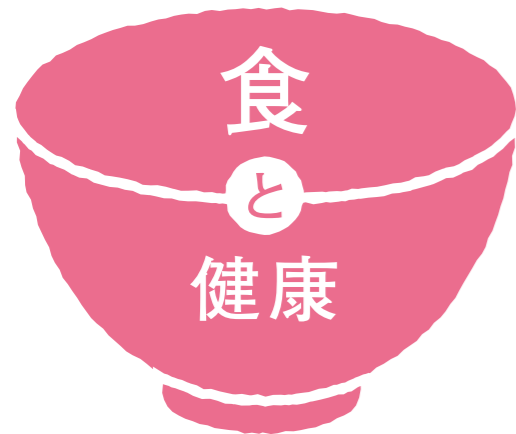


新潟県妙高市に住む人々の心と身体を支え、大切に新井院長とスタッフの皆さん



[所在地] 新潟県妙高市田町2丁目4番7号  
TEL.0255-72-3161 FAX.0255-73-8102  
[休診日] 土曜日・日曜日・祝日  
[診療科] 内科・外科・小児科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科  
整形外科・皮膚科・泌尿器科・歯科口腔外科  
[病床] 170床





## インフルエンザと風邪予防対策

栄養部 栄養管理室長 矢後 恵子

木枯らしの吹く季節が近づいて来ました。寒くなり空気が乾燥してくると、インフルエンザや風邪に感染しやすくなります。日頃から食事内容に心を配り、免疫力や抵抗力を高め、ウイルスや細菌から身を守りましょう。

### くらしの中でできること

- 1 手洗いとうがいの実施
- 2 十分な休息と軽い運動
- 3 栄養バランスの良い食事

### 食事を通してできること

- 1 1日3食、主食・主菜・副菜をそろえて、食べましょう。
- 2 様々な栄養素をとるため、多種類の食材をとりましょう。  
(目安:30種類程/日)
- 3 1日リンゴ半個程の果物も、数回に分けて少量ずつとりましょう。

### 栄養素と効果

免疫細胞の材料となり、  
身体を温める作用があり、免疫力を高める。

- タンパク質 … 魚類、肉類、卵、大豆製品など

免疫細胞の機能低下を防ぐ。

- ビタミンD … ニシン、鮭、さんま、うなぎ、サバ、カレイなど
- 亜鉛 … 玉ねぎ、にんにく、ニラ、らっきょうなど

粘膜の形成や働きに関係し、免疫機能を  
活性化させ、感染防止効果がある。

- ビタミンA … うなぎ、卵、ほうれん草、人参、かぼちゃなど
- ビタミンC … イチゴ、みかん、キウイ、プロッコリー、ゴーヤなど
- ビタミンE … 植物油、いくら、うなぎ、大豆など
- ムチン … 納豆、オクラ、山芋など

エネルギー代謝を高め、免疫力を活性化する。

- ビタミンB群 … 豚肉、うなぎ、ぶり、鮭、卵、玄米、大豆、ニラなど

### おすすめの料理を紹介

うなぎやぶり等の魚や卵は、タンパク質食品として、免疫細胞の材料となるほか、インフルエンザ予防に有効なビタミンA・B・D・Eも多く含まれ、ニラや玉ねぎなどの野菜と一緒に摂取すると、より効果的に働きます。



#### うなぎとニラの卵丼

- 材料/2人分
- うなぎの蒲焼…………… 1匹
  - ニラ…………… 1/2束
  - 卵…………… 2個
  - サラダ油…………… 大さじ1/2
  - 酒…………… 大さじ1
  - うなぎたれ…………… 1個分
  - 醤油…………… 適宜
  - 山椒又はわさびなど… お好み

#### ■作り方

1. フライパンにサラダ油を入れ、食べやすい長さに切ったニラを炒める。
2. 1. にうなぎと酒、たれを加え、軽く混ぜ合わせ、味を調える。
3. 割りほぐした卵を回し入れ、半熟の状態まで火を止め、ご飯の上に盛り付ける。



#### ぶり大根

- 材料/2人分
- ぶり…………… 2切
  - 大根…………… 300g
  - 酒…………… 大さじ2
  - 醤油…………… 大さじ1.5
  - 砂糖…………… 大さじ1
  - 生姜…………… 適量

#### ■作り方

1. ぶりは熱湯をかけ、臭みを抜いておく。
2. 大根は、適当な大きさに切り、柔らかく茹でておく。
3. 鍋に酒、砂糖、醤油、水を入れたら、ぶりと大根、生姜を入れ、煮汁が少なくなるまで煮合わせる。

## 読むくすり箱

# 「抗インフルエンザウイルス薬」

抗インフルエンザウイルス薬には作用の違いにより、大きく分けて2種類あります。

### 1 インフルエンザウイルスが細胞内に入り込むのを阻止して、ウイルスが増えるのを抑える薬

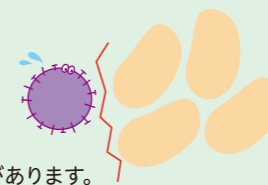
- シンメトレル(アマンタジン)  
飲み薬/1日1~2回

#### 効果

A型インフルエンザにのみ効果があります。

#### 副作用

めまい、ふらつき、立ちくらみ、不眠、幻覚、興奮、頭痛、便秘、食欲不振、吐き気、口の渇き、浮腫(むくみ)が出現することがあります。また服用した後は車の運転を避けることなどの注意が必要です。



シンメトレル(アマンタジン)

### 2 インフルエンザウイルスが細胞から細胞へ感染していくのを阻止して、ウイルスが増えるのを抑える薬

- タミフル(オセルタミビル)  
飲み薬/1日2回、5日間

- リレンザ(ザナミビル)  
吸入薬/1回2吸入、1日2回、5日間

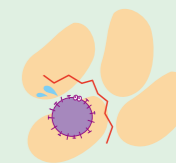
- イナビル(ラニナミビル)  
吸入薬/1回4吸入のみ

#### 効果

A型、B型の両方のインフルエンザに効果があります。

#### 副作用

これらのお薬の共通の主な副作用として、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛などの消化器症状があります。他に注射薬のラピアクタ(ペラミビル)もあります。



タミフル(オセルタミビル)

リレンザ(ザナミビル)

イナビル(ラニナミビル)

### 薬の効果はどれくらい?

抗インフルエンザウイルス薬は発症から48時間以内に開始すると、発熱期間は通常1~2日間短縮されますが、症状が出てから48時間以降に開始した場合は、十分な効果は期待できません。

インフルエンザにかかった時や抗インフルエンザウイルス薬を飲んだ(吸入した)時には小児・未成年者は異常行動の発現のおそれがあるため、自宅では少なくとも2日間一人にならないように配慮することが必要です。

また、お薬を飲んで(吸入して)症状が軽快してもインフルエンザウイルスは体内に残り、周囲へ感染させることもあるので、熱が下がっても最低2日間は自宅で療養しましょう。

### タミフル、リレンザについて

タミフル・リレンザは予防用に使うことが認められています。ただし、原則として「インフルエンザを発症している患者と同居している人で、①高齢者(65歳以上)、②慢性呼吸器疾患患者または慢性心疾患患者、③代謝性疾患患者(糖尿病など)、④腎機能障害患者」が対象となっており、保険は適用されません。インフルエンザの予防にはインフルエンザワクチン接種をお勧めします。

インフルエンザの治療については  
特集「インフルエンザ」を  
読んでください。

診療科紹介

# 子どもたちと歩む小児科

小児科教授 足立 雄一



小児科は単科で子どもの全ての疾患をカバーする必要があり、当院では小児総合内科、小児循環器内科、小児発達神経科の3つの部門と周産母子センターで診療を行っています。今回は、アレルギー・呼吸器疾患の診療について紹介します。

## 食物アレルギー児の安全のために

近年、卵や乳製品など特定の食べ物を摂ることによってじんま疹などのアレルギー症状が出てしまう食物アレルギーの子どもたちの数が増え、昨年の暮れには給食で誤って乳製品を摂ったミルクアレルギーの学童がアナフィラキシー（強いアレルギー反応）のために亡くなるという痛ましい事故が東京で起こりました。当科では、食物アレルギーの子どもたちが安全に摂れる食品や食事を明らかにするために食物経口負荷試験を積極的に行っています。また、ごく少量の原因食品を摂取するとアナフィラキシーを起こす子どもに対しては、誤食時の重症化を防ぐアドレナリン自己注射薬の導入や急速経口免疫療法を行っています。急速経口免疫療法は「食べて治す」というコンセプトで注目されていますが、治療

中に強いアレルギー症状を呈することもあるために専門施設でのみ実施可能な治療法です。



子どもたちのために正確に分量を置ります

「食べて治す」というコンセプトの急速経口免疫療法

## 小児ぜん息の子どもたちに少しでも快適な毎日を過ごしてほしい

糖尿病や高血圧症などの慢性疾患では、それぞれ血糖や血圧を繰り返し測定することで治療を調整することが一般的です。ぜん息も呼吸器の慢性的な病気ですので、呼吸機能を繰り返し測定することが望ましいとされています。しかし、実際の測定には子どもたちの協力が必要な検査が多いため、一般的には子どもでは呼吸機能は測定困難とされ、主に症状や聴診所見を目安に治療が行われています。当科では、子どもがアニメーションの動きに合わせて楽しく呼吸機能が測定できる機器や、協力が得られにくい小さい子どもでも測定可能なオッシレーション法による測定機器を用いて呼吸機能を評価しています。さらに、気管支のアレルギー炎症の程度を反映する呼気一酸化窒素濃度を測定するなど、少しでも多くの客観的指標に基づいてきめ細かく治療することで、ぜん息の子どもたちがより快適に日常生活を送り、長期的にはぜん息が寛解することを目指しています。



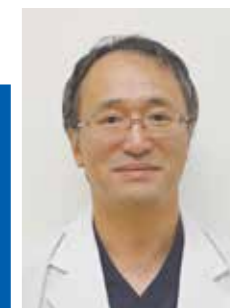
アニメーションの動きに合わせて呼吸機能が測定できる機器

オッシレーション法による測定機器

診療科紹介

# 多岐にわたる放射線科

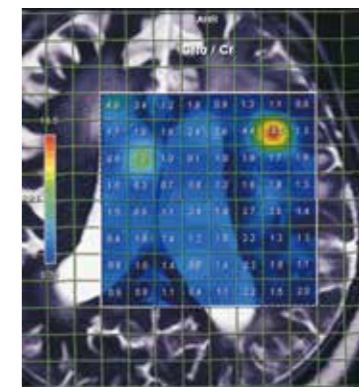
放射線科教授 野口 京



放射線科の仕事内容について紹介します。放射線科の仕事は多岐にわたっており、画像診断、インターベンショナルラジオロジー、核医学、放射線治療の大きく4つの部門に分かれています。

## 画像診断 短時間で広範囲の高精細な画像を作ります

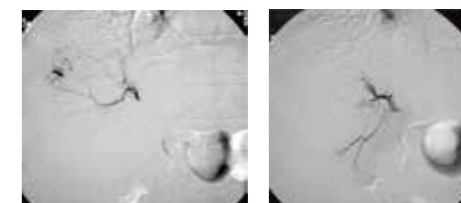
近年の画像診断装置の進歩はめざましく、得られる情報量が飛躍的に増加しています。最新のCTは、高精細な画像を従来よりも短時間でより広範囲に得ることができます。それをコンピューターにて画像処理を行うことで、血管、胆管、尿路、骨などの様々な3次元画像が作れるようになってきました。また、MRIは3テスラの高磁場装置が臨床的に使用できるようになり、高速かつ高分解能画像が得られるようになってきました。脳腫瘍のMRI検査では、従来からの撮像法に加えて、MRスペクトロスコピーによる質の評価(図1)、拡散テンソルイメージングによる神経線維の走行、脳機能画像による脳機能マッピングなどが施行されています。



【図1】悪性脳腫瘍のMRスペクトロスコピー

## インターベンショナルラジオロジー 血管内から様々なデバイスを使用して疾患を治療します

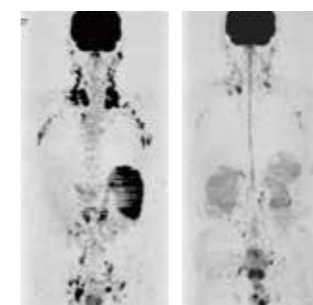
従来、血管造影法は診断手段として用いられていましたが、その技術をベースにして、血管内からアプローチし、様々なデバイスを使用して疾患を治療する方法が発達してきました。これが、インターベンショナルラジオロジーという仕事です。血管拡張術、ステント内槍術、肝癌の塞栓術、出血の塞栓術(図2)、組織の生検、膿瘍のドレナージなどが施行されています。



【図2】腹腔内出血に対する緊急血管塞栓術(左:術前/右:術後)

## 核医学 形態画像診断とは違い、機能・代謝を評価します

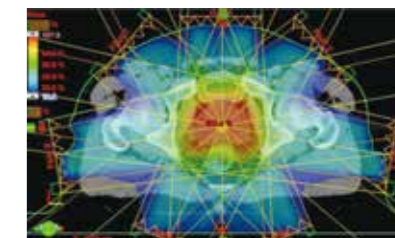
核医学は、CTやMRIのような形態画像診断とは異なり、機能・代謝を評価することができるため、臨床分野のみならず、研究分野にても重要な位置をしめています。18Fにて標識したブドウ糖を用いるFDG-PET検査(図3)は、糖代謝が亢進していることが多い「悪性腫瘍」の病期診断や治療効果の判定に非常に有用な検査法です。



【図3】悪性リンパ腫の18F-FDG PET(左:治療前/右:治療後)

## 放射線治療 体へのダメージを最小限に抑えて治療をします

放射線治療装置および画像診断の急速な進歩により、正常組織へのダメージを最小限に抑えながら悪性腫瘍に対して十分な治療効果を得ることが可能となっており、外科治療に劣らない成績が得られつつあります。当院でも、強度変調放射線治療(図4)という高精度放射線治療法にて、前立腺癌や頭頸部癌を治療しています。



【図4】前立腺癌に対する強度変調放射線治療

## スタッフステーションから

### 「患者さんの見え方の質」の (Quality of Vision:QOV)

#### 向上を心から願っています

眼科外来は、幅広い年齢層の方(乳幼児から高齢者まで)が1日100名以上受診され、いつも混雑しています。

患者さんの年齢や生活スタイルに合わせた看護ケア(点眼指導や検査・入院説明など)を心がけ、気持ちよく診察を受けていただけるように、スタッフ全員で、「ミッキー」を合い言葉に笑顔で頑張っています。

最近眼科では、これまで加齢黄斑変性の治療のみに使われていた抗VEGF薬(ルセンティス)が8月末より、網膜静脈枝閉塞症、網膜中心静脈閉塞症、近視性脈絡膜新生血管にも使用されるようになりました。注射は感染予防と安全のため手術室で行っています。注射を受ける患者さんが増え、注射に時間がかかるようになりましたが、患者さんの負担が少なくなるような配慮を心がけています。



眼科外来のみなさん

### 患者さんが自分らしく 生活するための力になりたい

外来化学療法センターは、外来通院治療として化学療法を受ける方のためのスペースです。現在、センターでは11台のリクライニングチェアと4台のベッドを設置しています。眺望の良い場所にあり、晴れていれば窓から新湊大橋が見えます。センターでは、専任の看護師、薬剤師が治療や生活に関する相談をお受けします。化学療法の分野では新規薬剤の開発が進んでいますが、安全かつ有効な薬剤の投与が出来るよう、そして何より自分らしく療養生活を行えるよう、力になりたいと思っています。いつでもお越しく下さい。



外来化学療法センターのみなさん

## 季節のご挨拶

### 病院にも芸術の秋を

芸術と医療は、一見するとあまり関係がないように見えますが、そんなことはありません。芸術が与えてくれる「美しいな」「楽しいな」という気持ちは、自然と生きる力、治す力を後押ししてくれます。先日開催しました病院コンサートでは国内外で活躍中のチェリストの柏木広樹さんに東京から来ていただき、わずかな時間でしたが演奏していただきました。患者さんをはじめ観客の皆さんの顔がキラキラと輝いていて、芸術の持つ力、柏木さんの演奏力に私自身も心を揺さぶられました。これから少しずつ冬がやってきますが、心も体もあたたかくなつて過ごしたいですね。



柏木広樹さんの心温まる演奏



たくさんの方の  
笑顔が見られました

### 大学病院の使命を考えた経営を

本年4月より、本学附属病院副院長を拝命し、主に病院経営を担当させていただいております。大学病院の役割には、診療に加え、教育、研究、地域医療への貢献などがあります。診療は当然のことながら利益追求だけが目的ではありませんが、経営の下支えという側面もあり、経営感覚が不十分ですと、教育、研究などにも予算をさくことができなくなり、微妙に影響が出ます。学生ならびに研修医などの教育については短期的に結果がでるものではなく、人材育成をおろそかにすれば5年後、10年後の医療の質の低下をもたらします。また、当院ではロボット支援手術のための機器の導入を進めていますが、経営という考えはその整備などにも関係してきます。高度医療は大学病院の使命であり、先進医療、臨床研究推進など不採算であっても積極的に行うべきものであり、その成果は最終的に患者さんに還元されることとなります。もちろん、最も大切なことは当院の理念、目標にもあります「患者さんが安心して高い満足度をもって質の高い医療を受けられるように最善を尽くすこと」であることに疑いの余地はありません。無駄を省き、医療資源を効率的に運用するなどバランスを取りながらの経営が求められます。最近大学全体として定員削減の方向が策定され、その結果として大学病院での教員数も減少する可能性があります。それを補うための優秀な人

材の確保、配置にもそれ相応の予算が必要です。最近職員の負担軽減の取り組みに関しておりますが、労働環境の改善のためにはマンパワーの確保は、大きな要件のひとつと思われます。経営の安定化によりその充実もある程度可能となります。

さて、当院の病院再整備も北棟が11月には整備完了し、病床が612床稼働となり、来年度には中央手術室も11室と、診療環境が徐々に整いつつあります。再整備の過程で、病床数などがかなり制限されていた時期もあり、患者さんには、いろいろご迷惑をおかけしたと思いますが、経営面でも少なからず影響がありました。さまざまな病院評価指標がありますが、その分析および問題点の改善は、健全かつ安定化した経営のための重要なポイントとなります。現在病床運用委員会で、各科の適正病床数の配置、定期的な見直し、ベッドコントロール機能の一層の充実などによるスムーズな病床運用を検討していますが、このことは入院患者さんにとっても関係することですので微力ながらその改善に努めたいと思っております。患者さん、職員の皆様が快適に過ごせる病院となるよう精一杯努力させていただきますので、皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。

副院長(経営担当) 布施 秀樹  
医学部 医学科 泌尿器科学 教授



## 編集後記

紅葉の秋はあっという間に過ぎ、寒い冬を迎えようとしています。このたび、病院の正面玄関と多目的ホールに色とりどりに輝くクリスマスツリーが飾られました。モミの木の花言葉は「時間」「時」だそうです。私どもも患者さんやご家族の方と一緒にこの病院で療養の時間を重ねていきたいと思っております。ご意見や感想をお待ちしております。

●E-mail: magazine@med.u-toyama.ac.jp

●FAX.076-434-1463

看護部長 米道 智子